

厚労研大西班
ACT分担研究の概要について
2024.3.21



人にやさしいがん治療の今を
もっと伝えるために

ALLIANCE FOR CANCER TREATMENT
ACT

1) セカンドオピニオン現状に関するデータの整理と解析

調査実施方法

調査対象	前立腺癌治療でのセカンドオピニオン 実施における現状
患者団体の前立腺癌サバイバーさまへ セカンドオピニオン受診経験のアンケート調査 (アンケート項目は後述)	<ul style="list-style-type: none"> 存在を認識か出来ていたか? 受けて得られた見解・満足度は?
上記アンケート結果を基に 泌尿器科・放射線治療科へ セカンドオピニオンのアンケート調査 (アンケート項目は後述)	<ul style="list-style-type: none"> 存在の認識か出来ていたか? 実際に回答は?
補足説明機会の実施現状と必要性を評価し、 提案を考察する	

研究モデル概要

研究課題名：SDMを定例とするためのセカンドオピニオン実施における現在課題と提案案
セカンドオピニオン外求の存在に着目し、利用の現状から課題においてどのような問題点を
広めているかを整理を取り上げて解析する。また、適切な問題である問診時の取組向上と協
み度合いを上げるツールを用いる事で補助し、SDM実現への取組を促す。

目的
選択肢が而立している前立腺に絞って（対象：泌尿器科医・放射線治療医）

フェーズ1：アンケートによる実態調査（①患者団体②医療機関）

フェーズ	実施内容	実施時期	実施場所
①患者団体	前立腺癌サバイバーさまへ セカンドオピニオン受診経験のアンケート調査	2024年3月～5月	オンライン
②医療機関	泌尿器科・放射線治療科医へ セカンドオピニオン受診経験のアンケート調査	2024年3月～5月	オンライン

フェーズ2：解析および提案など

フェーズ	実施内容	実施時期	実施場所
①患者団体	前立腺癌サバイバーさまへ セカンドオピニオン受診経験のアンケート調査	2024年3月～5月	オンライン
②医療機関	泌尿器科・放射線治療科医へ セカンドオピニオン受診経験のアンケート調査	2024年3月～5月	オンライン

ヒアリング内容の検討（例）

患者団体	泌尿器科・放射線科
1. セカンドオピニオンの存在認知	1. セカンドオピニオンの説明精度
2. セカンドオピニオンの利用有無	2. セカンドオピニオンの受診・利用数
3. 治療方法説明に利用されたツール	3. 治療方法説明に利用したツール
4. セカンドオピニオンの問題点	4. セカンドオピニオン実施の問題点
5. セカンドオピニオンを受けた事 による満足度	5. 他院/自院での紹介割合
	6. 受診後の放射線治療の選択割合
	7. 実態記録について

出来れば年齢層での違いを
確認したい

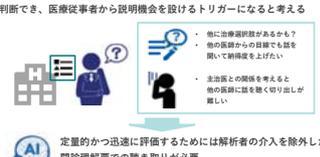
セカンドオピニオン体制に着目したSDM実施底上げ

目指すべきゴール

- セカンドオピニオン外求が機能していない実情をデータで整理し、逆及解析
する（＝問題があれば、その現状を厚労省に届けたい）
- 問診時における患者さんの理解度 協力度をツールで定量的に取る
理解度が足りない場合はセカンドオピニオン受診を推奨する
人のバイアス回避やアクセスし易さに繋がるAI技術の採用が良いのでは？
（大西先生よりアドバイス）
- 情報整備による啓発活動 取オプション
放射線治療を知ってもらう情報（装置なども紹介して）整備する事での
情報提供 放射線科の無い施設への広報の仕方を変える
今回アクセスする患者団体との協働フレーム構築も視野に

2) 問診時の患者理解度を定量的評価

問診の際に患者の理解度と協力度を測る事で、補足説明を必要としているか
判断でき、医療従事者から説明機会を設けるトリガーになると考える



定量的かつ迅速に評価するためには解析者の介入を除外した
問診理解度での聞き取りが必要
AIを用いた解析を応用出来ないか検討

議論が必要な留意点

データ解析事業

- セカンドオピニオン外求以外での一般外来受診（コンサル）との混在を
どう区別すべきか検討が必要
- サバイバー側のアンケート結果により研究デザインが変わる可能性あり
- 前立腺がん診療では腫瘍内科にかかる事も想定されるため、アンケートを
取る必要性の検討が必要か？
- 主科の先生へ配慮した設問の工夫が必要（適正な回答を得る為）

患者理解度/協力度の定量的評価補助事業

- AIを用いる場合の学習データ準備
- 特にファジーな混在的協力度をどう抽出出来るか検討が必要

想定スケジュール

年度	2024											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
準備												
フェーズ1	アンケート実施開始	アンケート実施（途中）										
フェーズ2												
解析												
発表												

今後の展望

進捗内容
研究フレームがおおよそ確定し、2024年度より具体的アクションに入る

今後の予定
2024年度早々に聞き取り調査の内容を確定させる
その後夏～秋にかけて調査を実施予定
2024年度内に一旦レポート化を目標とする

論文や発表予定
2024年度中に解析を行い、結果を2025年度に発表出来ればと検討中